

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36405	染色デザイン Dyed Design	小山田 尚弘	専門	1	選択	1・2年 後期

科目の概要

私たちの生活空間には衣服やインテリア製品など染色された布が多く存在しています。また、染色の歴史は古く、染色方法も多様で一般にあまり技法の種類は知られていません。この授業では、ハンカチ・バンダナを板ではさんで染める絞り染めや、糸と針で服地を縫い絞って染め上げる染色技法、さらにステンシル染めの技法を使いエコバックを染め上げるなど複数の染色技法を学びます。染めの実習をおこないながら染色で使う道具や歴史などについても説明します。

学修内容	到達目標
① 染色について技術や知識を理解する	① 染色の知識や技法を正しく修得することができる
② 染色のデザインについて追求する	② 染色のデザインの感性を高めることができる
③ 染色の歴史などについて知る	③ 染色の歴史について理解できる
④ 染められる布などについても調べる	④ 染色の染める道具や使用方法について理解できる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例

前に踏み出す力	主体性	糸や紐の絞り染、板絞り染め、ステンシル染などの技法を使って布を染めることができ全体的に理解できる。
	働きかけ力	わからないことがあったり自分では解決できない時は、そのままにせず先生に質問して解決した。
	実行力	課題は必ず期限までに制作し提出した。
考え抜く力	課題発見力	作品制作では、問題点を検討し制作した。
	計画力	課題に対して、計画を立て、進めることができた。
	創造力	授業では「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら考え制作できた。
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、絵を描いて説明した。
	傾聴力	染色の技法・構図・配色など、教員の説明をよく聞き理解できた。
	柔軟性	自分になかった視点(考え方)を取り入れて、作品を制作することができた。
	状況把握力	授業に不要なものを机の上に置くことなく受講できた。
	規律性	私語をすることなく受講できた。
	ストレスコントロール力	失敗したり、うまく行かなかったりしたとき、その原因を冷静に分析することができた。

テキスト及び参考文献

テキスト:必要に応じてプリントを配布する。

参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:色彩と表現、ポップデザイン、基礎デザイン

資格との関連:なし

学習上の助言	受講生とのルール
衣服、Tシャツ、エコバック、バンダナなどの作品を染色します。それぞれの染色技法を守りながら自由にデザインして染色してください。また、染めた服を着たり、バンダナを使ったりすることを考えながらデザインを計画すると、納得できる良い染色作品が作れるでしょう。技法や配色方法などわからない時は教員に質問して解決してください。	① 作品布を染色する時は、私語をしないで真剣に取り組むこと。 ② 染色で使用した道具は、各自で責任を持ってかたづけること。 ③ 作品製作費・・・染色材料費 900 円 ※ 染料代、バック代、バンダナ代、練習布代

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	80	①	✓	・制作した作品については完成度(特に優れて高い:K、優れて高い:A、完成はしているが仕上がりは普通:B、完成はしているが仕上がりは悪い:C、完成できてない:D)を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)糸や紐の絞り染、板絞り染め、ステンシル染などの技法を使って布を染めることができ全体的に理解できる。 (実行力)課題は必ず検討し解決できる。 (課題発見力)自分の学修上の問題点の解決策を考えることができる。 (創造力)授業内に、「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら、考え制作することができる。 (発信力)話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意できた。 (傾聴力)染色の技法・構図・配色など、教員の説明をよく聞き理解できた。 (規律性)私語をすることなく受講できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他	10	①	✓	・作品を制作する時は、できるだけたくさんアイデアを描いて、良い作品になるように努力できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
① 絞り作品は、綺麗に絞り模様が作成できている。 ② ステンシル染めは、技法の失敗もなくデザインも悪い箇所もなく追求し優秀な作品に仕上がっている。 ③ わからないところは、積極的に教員に質問した。 ④ K(秀)は、絞り染め・ステンシル染めなどの染色技法も特に上手で、デザインも大変優れた作品に仕上がっていること。	① 期限までに染め上げて提出できた。 ② 針と糸やヒモを使って布を締め上げてたが絞り模様が全体の7割くらい染め上らなかった。 ③ ステンシル染めの作品は、技法を守り無難に仕上がっている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「オリエンテーション」 「絞り染め染色」「板締め絞り染色」「ステンシル染め」の参考見本など見せながら制作の説明をします。	講義	科目の概要を理解できる。	(復習)課題作品のデザインや色彩について調べ計画し考えておく	90	主体性 計画力 傾聴力
2週 /	「絞り染め染色」① 絞り染め技法の説明後、絞り染めの理解を深めるため練習布を使って絞り染めの練習をおこなう。 練習布に針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸で練習布を絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	授業の内容やスケジュールなど理解する。参考見本など見せるので把握できる	(予習)染色の種類や工程をまとめ理解する (復習)染めの手順をまとめる	45 45	主体性 計画力 傾聴力
3週 /	「縫い絞り染色」② 練習布に針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸で練習布を絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	染めの説明後、絞り染めの理解を深めるため練習布を使って絞り染めることができる	(予習)染める時の針や糸などについてまとめる (復習)染めの手順をまとめる	45 45	主体性 計画力 傾聴力
4週 /	「縫い絞り染色」③ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	染めの説明後、絞り染めの理解を深めるため練習布を使って絞り染めることができる	(予習)染色の作業についてまとめる (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
5週 /	「縫い絞り染色」④ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出する	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	Tシャツや服に縫い絞りやタコ糸で絞り染めできる	(予習)縫い絞りについて復習する (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
6週 /	「縫い絞り染色」⑤ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出する	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	デザインに従って服地を糸や針で縫い絞り染めることができる	(予習)染色に多く使われる色について各自で調べる (復習)デザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
7週 /	「縫い絞り染色」⑥ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	1回目の絞り染めした布を水で洗い後、2回目の絞りを加えて染色し、水洗いし完成できる	(予習)染めの技法や工程を把握しまとめる (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
8週 /	「板締め絞り染色」① 練習布の綿ブロードを2枚の板とクランプで強く締めつける⇒染色液に入れ染める⇒水で染料を洗い流す⇒板を布から外す⇒水洗い後に干し場で乾燥させる⇒乾燥後にアイロンをかけて提出する	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	練習布を2枚の板で挟んだ後、水に浸け、その後に染料液に入れ染め上げ、板を外し、干して完成できる。	(予習)板締めの道具について説明後、各自でまとめる (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「板締め絞り染色」② ハンカチやスカーフを2枚の板とクランプで強く締めつける⇒染色液に入れ染める⇒水で染料を洗い流す⇒板を布から外す⇒水洗い後に干し場で乾燥させる⇒乾燥後にアイロンをかけて提出する	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	ハンカチやスカーフを2枚の板で挟んだ後、水に浸け、その後に染料液に入れ染め上げ、板を外し、干して完成できる。	(予習)板締めの道具について説明後、各自でまとめる (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
10週 /	「板締め絞り染色」③ ハンカチやスカーフを2枚の板とクランプで強く締めつける⇒染色液に入れ染める⇒水で染料を洗い流す⇒板を布から外す⇒水洗い後に干し場で乾燥させる⇒乾燥後にアイロンをかけて提出	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	ハンカチやスカーフを2枚の板で挟んだ後、水に浸け、その後に染料液に入れ染め上げ、板を外し、干して完成できる。	(予習)染色に適した布についてまとめる (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
11週 /	「ステンシル染め」① エコバックをステンシル染めする。デザイン方法や染色方法について説明する⇒デザインを考える⇒デザインを決定する⇒紙にデザインを転写⇒デザインを描いた紙を刀で彫り型紙を作る⇒型紙を使って、染料と刷毛でエコバックを染める	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	エコバックをステンシル染めし、デザイン方法や染色方法について理解できる。	(予習)エコバックの大きさに合わせてデザインを事前に考えてくる (復習)課題のデザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
12週 /	「ステンシル染め」② エコバックをステンシル染めする。デザイン方法や染色方法について説明する⇒デザインを考える⇒デザインを決定する⇒紙にデザインを転写⇒デザインを描いた紙を刀で彫り型紙を作る⇒型紙を使って、染料と刷毛でエコバックを染める	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	画用紙にデザインの輪郭を描け、染める部分を刀で切り取って型紙を制作できる。	(予習)たくさんのデザインのアイデアを出し、その中から1つ選べるように考えてくる (復習)デザインを考える	45 45	主体性 計画力 傾聴力
13週 /	「ステンシル染め」③ 型紙ができた人から染色してもらおう。ステンシル染めの実演を教員が行ってから見本を見せる。	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	・型紙を制作できる。 ・ステンシル染めの技法で染め上げることができる。	(予習)型紙を画用紙で制作する準備をしておく (復習)課題のデザインについて検討する	45 45	主体性
14週 /	「ステンシル染め」④ ステンシル染めの色や助剤について説明する。 染が完成した人はアイロンをかけて提出する。	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	作品にアイロンをかけて提出することができる。	(予習)ステンシル染の技法についてまとめる (復習)授業で学んだ染色の技法についてまとめる	45 45	主体性 計画力 傾聴力
15週 /	「ステンシル染め」⑤ ※まとめ 提出された作品について批評する。	講義と実習 制作方法の説明後に各自で制作実習を行う	提出された作品を提出用紙に感想文を書いて提出できる。	(予習)ステンシル染めの染料について調べる (復習)授業で学んだ染色の技法についてまとめる	45 45	主体性 計画力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力